

Young Adult Books

Best Selection

水巻図書館 2020.10月

今月は部活動にまつわる本を集めてみました。部活をやっている人もやっていない人も、ちょっとページをめくってみませんか？ 心が軽くなったり、ワクワクしたり、新たな気持ちになれるかもしれません。

「アート少女」

花形みつる/著(ポプラ社)



実力派の3年生が卒業後、美術部の部長となった根岸節子。顧問は頼みにならない上に、部員は超個性的な面々ばかり！美術への思いが熱い文系部活の青春ストーリーです。

「押忍！手芸部」

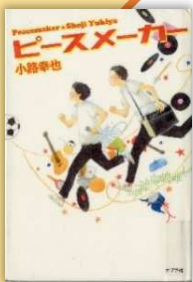
押忍！手芸部/著(池田書店)



部活は学生だけのものじゃない！大人の男性7人で作られた手芸部。細かいルールや作業にとらわれず、背伸びせず、自分の個性を大切にすべらの作品に注目！です。

「ピースメーカー」

小路幸也/著(ポプラ社)



赤星中学内で対立する運動部と文化部。放送部の良平とケンちゃんは両者の架け橋「ピースメーカー」として知恵と愛嬌と行動力で学内に平和をもたらします。二人の行動力に脱帽です。

「誰かのために鐘を鳴らす」

山本幸久/著(KADOKAWA)



翌年の廃校が決まっている男子だらけの県立高に通う錫之介。女子高ハンドベル部との交流という不純な目標から、居合わせた3人の同級生とハンドベル部を創立します。彼らがハンドベルを通して選んだ未来とは？

「部活やめてもいいですか。」

梅津有希子/文(講談社)



やりたいくて入ったはずの部活なのに、楽しめない、上手いれない。悩んでいるなら、この本を開いてみて下さい。梅津さんの温かいアドバイスが心にしみみます。

「たまごを持つように」

まほろ三桃/著(講談社)



自信が持てず臆病で不器用な早弥。天才肌だがに不調に陥った友人の実良。黒人の父を持ち、粘り強く弓道に取り組む少年、春。舞台は北九州。馴染みの方言が物語をより身近に感じさせてくれます。

灰島・黒羽らが集う凸凹チーム
清陰が福井県代表校の座を懸け
戦う「second season」
全国の強豪相手に挑む
「春高編」もよろしく！！



「2.43 清陰高校男子バレー部」

壁井ユカコ/著(集英社)

東京の強豪中学バレー部でトラブルを起こした灰島公誓は、母方の郷里福井に転居し、バレー部に所属する幼なじみ黒羽祐仁と再会します。バレーへの情熱が熱い純粋で真っ直ぐな青春小説です。